

うるし振興研究会

1. 目的

伝統的工芸品の多くの業種では「漆」が使用されており、これまでも「漆」には「菌の抑制作用(抗菌)」の効果が実証されている。この効果を改めて確認するとともに、コロナウイルス等に対する「漆」の効果を検証することで、伝統的工芸品がコロナ対策等に有効であることが認められれば、付加価値を高めることが期待できる。

故に、「漆」を起点とした伝統的工芸品のさらなる振興のため、抗菌・抗ウイルスの検証、全国統一の機能性に関する PR、新たな商機獲得に向けた研究会を開催する。

2. 研究会委員

(2022年4月1日現在)

① 漆を活用する伝統的工芸品産地代表

土田 直 ※座長	日本漆器協同組合連合会 理事長 / 越前漆器協同組合 理事長
竹中 俊介	山中漆器連合協同組合 理事長
佐藤 公	秋田県漆器工業協同組合 理事長
上原 重樹	甲府印伝商工業協同組合 理事長

② 漆に関する政府機関・団体

塚本 裕之	経済産業省 伝統的工芸品産業室長
箕輪 利一	全国漆業連合会 会長
原田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事
高橋 利康	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 常務理事
春原 政則	日本漆器協同組合連合会 事務局長

③ 有識者

小川 俊夫	金沢工業大学 名誉教授
橘 洋一	地方独立行政法人京都市産業技術研究所 工芸・漆チームリーダー
三田村有純	東京藝術大学 参与・名誉教授

④ オブザーバー

塚田 直子	林野庁 特用林産対策室長
-------	--------------

敬称略

3. 事務局

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
日本漆器協同組合連合会

以上